

## 会 議 等 結 果 報 告 書

会議区分	会 議 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">打合せ</span> ・ 協 議	文書番号	378
		決裁期日	平成 22 年 10 月 29 日
名 称	上富良野町地域新エネルギービジョン策定委員会 第 2 回会議		
日 時	平成 22 年 10 月 29 日 (金) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分		
場 所	上富良野町役場庁舎 3 階第 2 会議室		
出席者	策定委員 11名、オブザーバー 2名、事務局 2名、委託調査会社 1名 計16名 (別紙名簿のとおり)		
内 容	<p>策定委員会の第 2 回会議を開催、その概要は次のとおり。</p> <p>1. 開会 町民生活課生活環境班主幹から開会を宣言し、欠席の委員を報告。(4名)</p> <p>2. 委員長挨拶 濱田： 第 2 回目の会議は 4 件の議題があるので意見を願います。オブザーバーの方からご挨拶をお願いします。 北海道経済産業局エネルギー対策課の柳沼課長補佐、上川総合振興局商工労働観光課の星主幹から挨拶を受ける。</p> <p>3. 議事 (1) 新エネルギーに関する町民・事業者意識調査について (13:32～) ㈱ドーコンから資料 1 に基づき説明。 委員長： 内容について意見を願います。 委員： 予想どおりの良い結果になったと思う。回答率も前回と同じく高く、町民の関心の高さが現われている。今後の方向性を探る上でよいデータが取れたと思う。 委員： 非常に関心高い結果となった。具体の課題も明らかになり、今後の方向性が見えてくると思う。 委員： 住宅環境の違いもあってか、年代によって関心に違いが見られたと思う。 委員長： バイオマスへの浸透が低い印象を受けた。他の町はどうか。 ドーコン： 結果は比較的似ているかたちになっており、特に違いはないと思う。全体的に関心は高い方だと思う。 委員長： 公共施設や助成に対する要望意見あるのでよろしく願いたい。</p> <p>(2) 新エネルギー賦存量について (13:53～) ㈱ドーコンから資料 2 に基づき説明。 委員長： 当日配布された資料「風洞発電」について荒田委員から説明をお願いします。 荒田委員から資料に基づき説明。</p>		

委員長： 内容について意見をお願いします。

委員： 上富良野町には火山があり地熱発電に興味を持っている。計り知れないエネルギーがあると思うので、地域性は適しており調査をお願いしたい。

生活環境班主幹： 行政内部の政策調整会議で議論している。行政としてどう取り組めるか、国等の助成策も参考に考えていきたい。

委員： 上富良野は風速強くないと聞いているが、高い上空になれば可能性あるのではないか。

ドーコン： 現在のプロペラによる発電に対し風速は少ない地域。風速 6m 程度が採算ベースと言われている。

委員： アンケートにあるが上富良野らしい施策が求められている。ハードルは高いと思うが、町として勇気と決断を持った対応が必要と思う。

委員長： 紹介されている事例は限定されているので、紙面の都合上ということ付記されたい。

委員： 報告書は町民にどのように示されるのか。また、4-25 ページにカミホロ荘の事例を掲載してはどうか。

生活環境班主幹： 報告書の概要版の配布とホームページなどへの公開を予定している。

委員長： 掲載のための資料提供をお願いします。

### (3) 新エネルギーの利用可能性について (14:35～)

(株)ドーコンから資料 3 に基づき説明。

委員長： 内容について意見をお願いします。

委員： 資料 1 の自由意見にあるとおり、景観を十分に考えて新エネルギー導入を同時に考えていくことが必要と思う。例として太陽光パネルが全町に広がりキラキラしたまちはどうか、都市のマネになってしまわないか。総合的にエコのことも含めて当初から考えていくことが必要と思う。上富良野に一番いいものは何か、人口は減少し 10-20 年後を考えることが必要。エネルギーについて人口が同じ他の町と比較出来ないか。

ドーコン： 同じ規模の町にデータやビジョンは揃っていない、比較は難しいと思う。新エネルギー導入には事業費や事業主体、事業負担の課題あり。可能性についてビジョンの中に提案できればと思う。

委員長： 町の将来像について貴重な意見をいただいた。町民の思いを最大限ビジョンに反映するようにしたいと思う。

委員： 家畜の排泄物など農業系のバイオマスが進められればと思うが導入やランニングコストの課題あり。太陽光やヒートポンプは身近に浸透してきていると思う。

委員長： ビジョンに町の個性を示せればと思う。

委員： バイオマスに興味あり。家畜の数も増え排泄物も増えている。ただ

家畜の臭いが気になるようになってきた。バイオマスの技術で臭いの環境も改善できないか。量はあり効果あると思うので利用できないかと思う。

委員長： 利用可能量は高い位置にある。

委員： 太陽光パネルの光の反射はどの程度あるのか。つやあり素材の屋根よりは光らず気にならないと思う。

委員： パネルが多くなることは景観上どうか。目に見えるものは景観なので考慮が必要と思う。

委員長： 地域の観光資源との調和も大切。

委員： 他のまちには太陽光などへの助成策あるので、上富良野独自の助成策を考えられないか。

生活環境班主幹： 次年度に向けて検討進めている。国や道の施策に影響されない上富良野らしさを出すことが求められている。

委員： 総合計画の策定に関わり、移住された方の意見には先進的なことを行うのも町の魅力と言われていた。景観などあまり縛りを入れては何も出来なくなると思う。

委員： 10月7日の先進事例調査から、雪の貯蔵庫をもっとコンパクトにすることで住宅の冷房に活用できないか。

委員長： 事例の貯蔵量も小さい方である。小さくすることで雪が溶けやすくなってしまうことはある。

委員： 断熱を高めることで工夫できないか。

委員長： 可能性は高いと思う。事例として氷の活用もある。

#### (4) 先進事例調査（結果）について （15:20～）

谷口主査から資料4に基づき説明。

委員長： 全体を通して意見をお願いします。

委員： 総合的・多角的にビジョン策定を進めればと思う。

柳沼課長補佐： 町民の意識は高いので、それをバネにして導入を考えられたい。報告書の一部は数値の羅列になっており、上富良野の特徴や優位性などをまとめられればと思う。再生可能エネルギーの全量買取制度に関して情報提供させていただく。これに合わせて補助制度の見直しも進められているので、ビジョン作りの参考にされたい。

星主幹： 小水力の施設もあると思うので調査されてはどうか。農業用水などの活用が考えられる。

生活環境班主幹： 今後整理し次回に提案させていただきたい。

委員長： 予定の時間となったので、ここで審議を終える。次回会議は12月初旬で調整し、事務局から案内する。

#### 4. その他

生活環境班： 11月5日に環境セミナーを開催するので参加をお願いします。

委員長： 以上で第2回会議を閉じる。

	終了 (15:30)
--	------------

## 第2回 上富良野町地域新エネルギービジョン策定委員会会議 出席者名簿

任期：平成22年7月1日～平成23年2月28日

(平成22年7月1日現在)

所 属	勤務先・職名等	氏 名	出欠	備考
北海道大学大学院工学研究院 空間性能システム専攻・環境工学研究室	准教授	濱 田 靖 弘	出	
北海道電力株式会社 富良野営業所	所 長	松 井 利 顕	出	
LPガス協会上川支部富良野分会上富良野支部	道央エア・ウォーター株式会社 上富良野サービスセンター	鈴 木 隆 之	欠	
上富良野町石油組合	久保商店	久 保 儀 之	欠	
上富良野町建設業協会	株式会社 健名工建	健 名 康 則	出	
上富良野町商工会	株式会社 有我工業所	有 我 充 人	出	
社団法人かみふらの十勝岳観光協会	株式会社 アラタ工業	荒 田 政 一	出	
社団法人北海道建築士会上富良野支部	有限会社 黄田建設	黄 田 正 行	出	
ふらの農業協同組合上富良野支所	理 事	富 田 成 一	出	
道北電気工事事業協同組合富良野支部	有限会社 大久保電気工業社	大久保 和 夫	欠	
上富良野町校長会	江幌小学校校長	瀬 尾 祐 二	出	
上富良野町教頭会	上富良野小学校教頭	田 村 啓 一	出	
環境ボランティア野山人	代 表	佐 川 泰 正	出	
公募		大 西 邑 子	欠	
公募		水 島 雅 夫	出	

### 《オブザーバー》

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開 発機構 エネルギー対策推進部	専門調査員	藤 井 清 文	欠	
北海道経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課	課長補佐	柳 沼 勝 利	出	
北海道上川総合振興局 産業振興部商工労働観光課	主 幹	星 昌 浩	出	

### 《事務局》

上富良野町役場 町民生活課 生活環境班	課 長	中 田 繁 利	欠	
	主 幹	林 敬 永	出	
	主 査	谷 口 裕 二	出	

### 《委託調査会社》

(株)ドーコン 都市環境部	副技師長	山 崎 真 也	欠	
	副主幹	竹 森 憲 章	出	